



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

「ロータリー：変化をもたらす」 Rotary: Making a Difference

2017-18年度 RI会長／イアン H.S.ライズリー RI.D2590ガバナー／湯川 孝則 横浜旭RC会長／滝澤 亮

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階/〒241-0821
TEL.045-465-6702/FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
(榎岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



旭区民まつりにて熊本みかん販売



熊本自転車支援



ガールスカウトとクリーン作戦

2017年10月18日 第2310回例会 VOL. 49 No. 15

■司会 SAA 五十嵐 正

■開会点鐘 会長 滝澤 亮

■斉唱 手に手つないで

■出席報告

会員数	32名	本日の出席数	23名
本日の出席率	85.19%	修正出席率	100%

■本日の欠席者

大川、宋、本山

■他クラブ出席者

大川（神奈川県東RC）

■ゲスト

佐々木正雄様（横浜商科大学野球部監督）

朝倉 春菜様（元地区財団奨学生）

■皆出席者表彰



後藤 英則会員 6年

滝澤 亮会員 2年

■会長報告

15日に旭ふれあい区民まつりが小雨の中決行されました。悪天候の中お集りいただいた会員の皆様、大変ご苦労様でした。

悪天候の為、岩沼から送られてきました新米が半分以上売れ残ってしまいました。各会員にお買い求めいただきますよう御協力をお願い致します。寒い中最後まで残って頂いた会員の皆様、懇親会にお集り頂いた皆様に重ねてお礼申し上げます。

■幹事報告

1) 例会変更のお知らせ

○神奈川県東ロータリークラブ

日時 11月17日(金)夜間例会

○横浜緑ロータリークラブ

日時 11月15日(水)→16日(木)点鐘午後6時半

千葉緑RC 合同夜間移動例会

場所 芳香園 新横浜店 TEL 045-470-8918

日時 11月29日(水) 点鐘午後6時半

夜間移動例会

場所 きじま新横浜店

■国際奉仕委員会

青木 邦弘

○国際奉仕委員会会議報告

日時 10月12日(木) 15時～17時30分

場所 メモワールプラザソシア 21

1) ポリオについて

ポリオ撲滅を始めたのは麴町 RC の医師二人が東南アジアから始めたのがスタートとなりますが、ビルゲイツがそれに多大な寄付をしたという紹介が、委員長よりありました。

2) 各クラブの国際奉仕活動報告

- ・鶴見北 RC タイ北部少数民族児童への支援
- ・川崎中 RC エチオピアでの教育支援
- ・新横浜 RC 南アフリカ学習支援
- ・川崎百合ヶ丘 RC ラオス子ども達歯科治療
- ・戸塚 RC ネパール小学校支援

今年度から米山学友と連携による支援を始めました。御協力をお願いします。

○在日外国人の子ども勉強支援について

外国から日本にきた子ども達に早く日本語の勉強についていけるよう、学習支援を行います。

参加は無料です。宿題、勉強したい教科書を持参して下さい。

- ・対象 小学生、中学生

日時 11月19日(日)13-16時

11月26日(日)13-16時

場所 鶴ヶ峰ココロット4階

市民活動支援センターみなくる

参加人数 30人

■朝倉春菜様からお礼



財団奨学生の朝倉春菜です。先日10/4地区大会記念行事チャリティーディナーショーでは横浜旭 RC の皆様に応援にかけつけて頂き、本当に有難うございました。本日はそのお礼にお邪魔いたしました。引き続き音楽活動、学友活動に前向きに取り組んでいきたいと思っております。

■親睦委員会

○川崎ナイト競馬観戦報告 後藤 英則

10月13日(金)午後5時。これから起こるとんでもない大穴レースに期待し、一攫千金を夢見た総勢20名のロータリアン&その友人は定刻より少し遅れて川崎駅を競馬場専用の送迎バスにて出発、その車内では大穴を取ったら皆さんに帰りは「うな重の松」ご馳走し、タクシーで自宅まで送り付きなんて景気の良い会話が飛び交い、レース開始前から相当な盛り上がりを見せていました。

はやる心を抑え貴賓室に到着。皆さん早速100円玉や千円札を握りしめ馬券発券機へダッシュ。しかし景気の良い話は最終レースまでたったの一回、それもちょっと小景気?

滝沢会長の連れの方が第10レースで500円投資5,890円の払い戻し、万歳三唱、拍手喝采でした。そのほか僅かな金額の払い戻しを受けた方もいたようですが、話題にもならずその後、皆さん鳴かず飛ばずの13日の金曜日最終レースまで何事も起こらず霧雨降る中、川崎駅までオケラ街道をうつむきながら帰りました。それでも、皆様から来年もよろしくと、思いは早くも来年に向けてました。

参加して下さった皆様ありがとうございました。来年は大穴当てましょう!

■社会奉仕委員会

北澤 正浩

旭ふれあい区民まつり活動報告

あいにくの雨の中、開催された旭区民祭りに多くの会員にご参加いただき有難うございました。

岩沼 RC より送っていただきました新米の販売は2キロ700円というお得な価格でしたので多くのお客様にお買上げいただきましたが、残念ながら雨の影響で完売とはなりませんでした。

震災の写真掲示につきましては、五十嵐会員のご尽力で素晴らしい掲示物が出来、いまだ復興が終わっていない東北の現状について、訴え掛けができたと思っております。

アトラクションで出演して頂いた「横浜和太鼓音や」様には通常雨天時には演奏を控え

るところ、無理して演奏していただきました。雨の中太鼓を運び、控室も泥だらけというコンディションの中、演奏できるのかハラハラしましたが、いざ演奏が始まると力強い太鼓の演奏に魅了されました。観客の皆様も大喜びで拍手喝采でした。

区民祭りは地元旭区の大切なイベントです。又、ロータリー活動への理解をして頂く絶好の機会でもあります。来年はさらに多くの会員が参加し、盛り上げていきたいと思えます。御協力有難うございました。

・参加者（敬称略）

安藤（公）、五十嵐、青木、内田、大川、太田（幸）後藤、今野、斎藤、佐藤（利）、須藤、関口、田川、滝澤、新川、二宮（麻）、福村、増田、目黒、本山、北澤

・収支報告

集計完了後報告

○残ったお米について

2箱30キロのお米が残っています。会員の皆様にご購入いただきたくお願い申し上げます。重たいので、ご指定場所までお届け致します。代金は10月25日(水)例会時に集金。



上：震災後の様子の展示

下：新米販売所の様子



上：地球市民 ACT かながわ TPAK のお店

下：雨の為、お米が売れない！



■雑誌委員会

内田 敏

ロータリーの友 10月号

10月はポリオデー、そして米山月間です。

○横組み

3 ページ、ポリオ撲滅にご協力を。世界の多くの地域においてポリオの脅威に長年脅かされた後、ワクチンが開発され克服されたが、いくつかの地域においてはワクチンが入手出来なかったり、またワクチン投与は費用がかかり子供たちに行き届かなかつたりで、全ての子ども達にポリオのない人生を送れるよう、ポリオプラスを発足させました。数年後発症件数年間35万件だったのが、2017年にはわずか数件にまで減少したが、まだ発症件数0に達成できていません。ポリオ撲滅に、ロータリーは今後3年間で年5,000万ドルの寄付を約束。又、ゲイツ財団はこの2倍の額を上乗せしロータリーの募金活動で調達する総額を3倍にしてくれます。

米山月間の記事としては、

（5～13 ページ）

「日本と世界を結ぶ人づくり」の記事が掲載さ

れています。5 ページに米山奨学生第 1 号としてタイの青年ソムチャード・ラタナチャ氏。彼は、1954 年に来日、東京大学農学部で養蚕を学びました。

13 年後の 67 年にロータリー米山記念奨学会は財団となり、2017 年に財団創立 50 周年を迎えました。この制度は日本で学ぶ私費外国人留学生を支援する奨学事業。設立当時は年間 59 人だった奨学生は今では約 800 人。累計 125 カ国と地域から 19,808 人を支援。

(8～9 ページ)

「思いを受けて世界～学友たちの今」各国で活躍されている 9 名の学友の記事が掲載されています。

(10～11 ページ)

財団設立から 50 年間の主な出来事の記事。

① 1967 年財団法人ロータリー米山記念奨学会設立。

② 1971 年米山カウンセラー制度設置。

③ 1972 年奨学会の事業に貢献した会員を表彰する米山功労者の制度を設定

④ 1978 年特別寄付金への免税措置の認可を受ける

その他 1960～2010 年代の出来事の記事

(12～13 ページ)

ロータリー米山記念奨学会資料

2016～17 年

地区特別寄付額 2590 地区約 6,580 万円

個人平均寄付額 31,800 円

功労者数 362 人

奨学生数 915 人

2017 年度奨学生数 39 人

(14～16 ページ)

2016 年日本を訪れた外国人の数が初めて 2000 万人を突破。2020 年までに政府は訪日客数を 4000 万人とする目標を立てています。

世界中の友人たちと絆を結ぶ多くの架け橋となる人材を育てているが、ロータリークラブで今月は 9 月号の「在住者支援編」に続き、「訪日客支援編」として外国人観光客への支援、地元の人たちとの交流を支援する取り組みから二つの事例が紹介されています。

一つは世界的スキーリゾートならではのコンテンツ、その内容は、JR 北海道倶知安駅にある倶知安観光協会のインフォメーションセンターを訪れる外国人に対し中学生、高校生が観光協会の職員に代わって英語を使って観光案内を試みる記事。

二つ目は当時中学 3 年生の菅原君が春休みの間、2 週間オーストラリア語学留学レポートの記事を掲載

(18～21 ページ)

9 月号に続き、九州北部豪雨について

いつ台風が来るか分からないような時でも駆けつけてくれたボランティアに感謝感激。自然の脅威と人の心の二面性に太刀打ちできない悲哀を痛感させられた。しかしこんな時にこそ、本当に助力にたいと支援してくださる日本人の心の温かさには大きな感動をいただいた。

(28 ページ)

東京ロータリークラブが 2020 年 10 月 20 日に創立 100 周年を迎える。すなわち日本にロータリーが誕生して 100 周年を迎えるにあたっての関連記事が掲載されています。

(35 ページ) 35 ページ

地区別クラブ数、会員数一覧表があります。

○縦組み

(4～8 ページ)

難民問題、今何が起きているか難民の定義について 2016 年 11 月 19 日国際ロータリー第 2520 地区の地区大会記念講演要旨が掲載されています。

今、日本は難民を受け入れない国として批判されている。その一つの理由は日本が受入を表明していないのは亡命者のような条約難民という人たちだけで、その審査が非常に厳しいため。

(9～12 ページ)

クラブを訪ねては、今回は和の心。木の文化を大切に古い町が一番新しいクラブという高山中央ロータリークラブの紹介の記事。飛騨高山の屋台は 300 年余りの伝統があり、春秋に絢爛豪華な曳き屋台を繰り出す高山祭は

ユネスコ無形文化遺産に登録されている。高山市は平成の町村合併で東京都とほぼ同じ面積、日本一広い市になったそうです。

(13 ページ)

友愛の広場、下段に宮古馬、絶滅の危機の記事。日本には北から北海道和種(通称道産子)、木曾馬、野間馬、対馬馬、御崎馬、トカラ馬、宮古馬、与那国馬と在来種8種の馬が生息し、そのいずれもが絶滅の危機にさらされている。中でも宮古馬は緊急の対応が不可欠な状態にあります。

■ニコニコ BOX (会員敬称略)

滝澤 亮／①本日の卓話、関口会員、商大野球部佐々木監督、宜しく申し上げます。②②ロータリー学友朝倉様、ようこそ。③皆出席をありがとうございます。

田川 富男／①横浜商科大学野球部佐々木監督、卓話を宜しくお願い致します。②朝倉さん、先日はご苦労様でした。楽しい会になりました。

目黒 恵一／佐々木様お久しぶりです。卓話宜しくお願い致します。

兵藤 哲夫／佐々木正雄さんをお迎えして。大歓迎です。

今野 丁三／佐々木さん、久しぶりです。お元気そうで何よりです。卓話宜しく申し上げます。

青木 邦弘／佐々木様おひさしぶりです。

市川 慎二／①佐々木正雄様、本日はお忙しい中お越し下さり有り難うございます。卓話楽しみにしております。②朝倉さん、ようこそ。

五十嵐 正／佐々木さん、お久しぶりです。本日の卓話よろしく申し上げます。楽しみにしております。

岡田 清七／佐々木正雄様の卓話、楽しみに聞かせていただきます。

増田嘉一郎／佐々木さん、お久しぶりです。卓話楽しみにしています。

内田 敏／佐々木正雄様、お久しぶりです。本日の卓話よろしく申し上げます。楽しみにしています。

齋藤 善孝／佐々木様ようこそ。昭和41年の

県大会の準々決勝で負けた逗子開成応援団のOBです。佐々木さんの素晴らしいピッチングを今でもよく覚えています。

須藤 亘／①先日は旭区民祭りに参加させていただき、貴重な経験が出来ました。有難うございました。②佐々木様、本日の卓話を宜しくお願い致します。

二宮 登／①ダバオ市会議員、経済交流団25名が来浜され。市役所にて交流しました。

②佐々木様、ようこそいらっしゃいました。

後藤 英則／①佐々木さん、本日の卓話楽し味にしています。②皆出席を頂き有難うございます。7年を目標に頑張ります。

安藤 公一／①佐々木様、本日の卓話宜しくお願い致します。②北澤社会奉仕委員長、先日の区民祭り、お疲れ様でした。一日中寒かったです。③後藤さん、先週金曜日のナイター競馬楽しかったです。アレンジ有難うございました。次回も楽しみにしています。④朝倉さん、ようこそ！！

関口 友宏／佐々木さん、本日はご多用のところ、卓話をして頂き、誠にありがとうございます。ロータリーへの復帰も期待しています。

■卓話「野球道」

佐々木正雄様

○ご紹介 関口 友宏

佐々木さんは元当クラブの会員で、ご存知の方も多いと思いますが、改めてご紹介させていただきます。

1966年夏、横浜商科大高校のエースピッチャーとして33イニング連続無失点を記録、神奈川の頂点に立ちました。甲子園ではベスト8まで駒を進めた剛腕でした。横浜商科大学の創始者・故松本武雄氏から直々の要請を受け、同大野球部監督に就任して35年になります。

リーグ戦で優勝6回、世界大学野球選手権では、平成20年に副団長、同22年には監督会会長として指揮を取られ、各々、銀と銅メダルの実績があります。

現在は全日本野球協会の強化委員を務め、アマ野球の発展に尽力され、スポーツ用品店、

アサヒスポーツの社長でもあります。
昨年行われた第98回全国野球選手権神奈川大会では、始球式を務められ感無量であったことと思います。今日は「野球道」をテーマに語って頂きますが、ベ이스ターズについても触れて頂くようお願いしてあります。

「野球道」 佐々木正雄様



この度、関口会員のお声がけにて、参上いたしました。関口先輩には私も会員だった10年間、公私ともども大変お世話になった大先輩です。さりげない気持ちでお引受けを致しました。

今日は、アマチュア野球全般を含め、私の大学に於いての野球道について、時間の許す限り、お話をさせていただけたらと思います。

それと、私は聖人君子ではありませんので、何か、問いかけがありましたら、お時間を取りたいと思いますので、お答えできる範囲でお答えできたらと思います。

おかげさまで、大学監督34年間、高校監督7年間、通算41年間。800名以上の卒業生（高校生含む）と社会人約150名、プロ9名、高校、大学どちらも一番の思いは進路についてのこと。最大な目標でもあり、4年間、3年間というものは人生の単なる通過点であるという思いと共に、人間形成を第一に勝つためにはと考えてまいりました。

現在、大学生を相手にし、3本の柱を実践理論で追っかけています。3本の柱とは、卒業すること、就職すること、そして勝つこと。この3本の柱を月日においてランダムに置き換えて、踏ん張っています。

この3本の柱全部に枝葉が無数にあり、これら3つが全部繋がっていると考えています。

ちょっと話はそれますが、今の世の中、何でもありで、節操もなければ情けもなし。こういう状況を考えるとき、教育の重みを痛感している現在です。

元来、教育というものは、家庭のしつけから始まり、小中高、人間関係を含め、良い、悪いからみんなで共有しながら、していかなければならない人間としての一番大切なことではないでしょうか。

考えれば、教育の上に政治経済が成り立っているのではないだろうか。

例えば権利と義務。嘘、本当。差別と区別。常識、良識。基本的に人間の根幹的問題である。いかに教育が大切であるかということ再認識し、皆さんで、実践理論で考える時にきているのではないかと思う。

話がそれましたが、野球道というのは、礼に始まり、礼に終わる、日本国唯一の団体競技だと思う。日本古来の武道を国技と言われている競技をはじめ、ここに人間的な人としての価値感、思いが、あるのではないのでしょうか。

2020年に国家的イベントであるオリンピック、パラリンピックが横浜で野球、ソフトの開催があります。それによって、高校野球の準決勝、決勝を行うことができない、そういう弊害も出てきている。また、横浜DeNAベ이스ターズがCSに出場するように、異常な盛り上がりを見せている。中畑前監督と現ラミレス監督の野球における戦略、戦術はどのようなだろう。中畑前監督は野球をやっている。ラミレス監督はベースボールをやっているという。それは何だろう。自己責任に対するチームプレー。その相異ではなかろうか。もちろん選手の良い悪いを含め、意識の高い野球がおこなわれているのも事実である。ベ이스ターズの踏ん張りを期待する。

■次週の卓話 11/1(水) R 財団フォーラム

「財団の意義と目的等

(特にグローバル補助金の件)」

竹中裕彦様(川崎大師RC)

週報担当 岡田 清七